

法体系の違いからみた外国商標制度の特記事項とリスク対策

 難易度
 中級

2日間

～国際登録、米・欧・中・各国商標制度の特殊性と対応策～



LIVE


 ライブ配信だからその場で講師に質問可能 &
 アーカイブ配信も実施(各講義翌日から1週間)


・聞き逃しても安心!期間内はなんとでも、再生速度を変更可能!



講師

青木 博通 氏

 ユアサハラ法律特許事務所
 パートナー・弁理士

◆経済のグローバル化により、大企業のみならず、中小企業も海外進出を余儀なくされています。海外での商品の生産、販売には自社商標の登録が不可欠です。

◆本講座では、まず、外国商標出願、調査の基本について、ハウスマーク、プロダクトマーク、スローガン、キャラクターの特殊性を踏まえて解説します。次に、法体系の違い、法改正の動向を踏まえて、各国商標制度の特記事項と対応策について、最新の改正情報を含め解説します。

◆日本と全く異なる法体系（使用主義、フロード、消費者保護）からなり、注目される最高裁判決が続く米国、年間出願件数900万件を超え、模倣品の多い中国、27か国をカバーする欧州連合商標制度については、中間処理の方法も含め、特に詳しく解説します。

◆インターネット上の商標権侵害の日米欧の比較や、メタバース、NFT関連の動向も解説します。

◆商標の国際登録制度「マドリッド協定議定書」については、最近顕在化してきたリスクとその対応策、ハーグ協定（意匠の国際登録制度）との比較と活用法についても言及します。

◆最後に、復習の意味で、外国商標制度の項目毎（横串）に、日本にはない特殊な制度を中心に、各国制度をテンポよく紹介します。本講座を受講することにより、各国バラバラな外国商標制度について、最新の情報に基づき、法体系を踏まえて立体的に効率よく学習することができます。

【解説内容（予定）】

1. 外国商標出願の基本

(ハウスマーク、スローガン、プロダクトマーク)

2. 外国商標調査の基本

(識別性、類否判断、各国特有のチェック)

3. 外国商標出願のルートと出願戦略

4. 法体系の違いからみた外国商標制度

5. 各国商標制度の特記事項と対応策

 米国、カナダ、欧州、ロシア、中国、アジア(ミャンマー)
 オセアニア、中近東、アフリカ、北米、中南米

6. マドリッド協定議定書のリスクと対策

(1) マドプロのリスクと対策

(2) マドプロとハーグ協定（意匠の国際登録制度）の比較と活用法

7. 他の法律との関係

(1) 不正競争防止法 (2) パッシングオフ

(3) 著作権法 (4) 意匠法 (5) 民法

8. グローバル企業の商標戦略

9. 項目別各国制度のまとめ

10. 日米欧のインターネット上の商標権侵害の比較

この研修は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。この研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として5単位が認められる予定です。（※zoomにてご参加下さい。アーカイブ視聴は単位認定対象外です。）

開催日時

2022年7月21日(木)、22日(金) 各日13:30~16:30

受講料

会員17,850円 一般21,000円(※税込)

申込

http://www.jiii.or.jp/kenshu/chizaikenshu_tanki.html

お問合せ先

(一社)発明推進協会 研修チーム TEL 03 3502 5439


 申込みページ
 QRコード